

保護者様

熊谷市立熊谷東小学校長
向井邦明

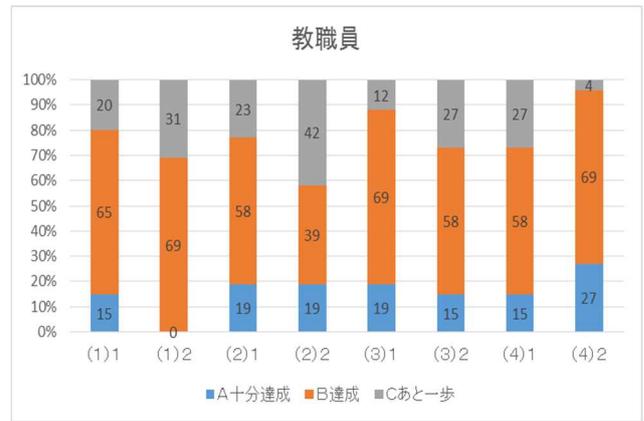
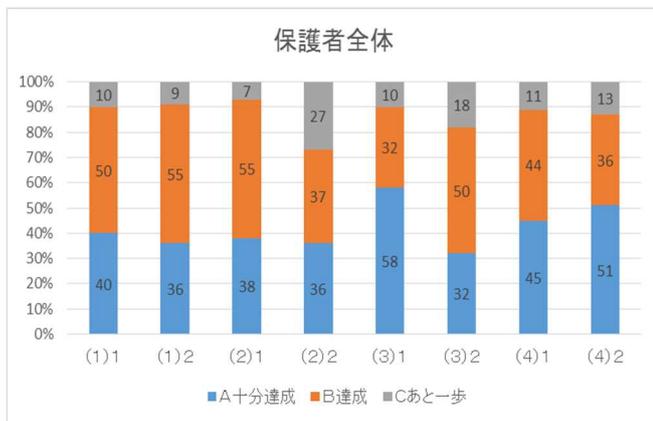
平成28年度 学校評価の結果について

早春の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと推察いたします。日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、今年度の学校評価の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。熊谷東小学校ホームページには、後日、保護者の皆様のご意見等を掲載いたします。みなさまから頂戴したご意見を参考にしながら、教育活動を進めてまいりたいと思いますので、今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

《 保護者・教職員の集計結果 》

質問(上段:保護者 下段:教職員)							
1(1)	保	学年に応じた学習規律(学習の準備・学習中の姿勢・発表の仕方・ノートの取り方)を身に付けているか。					
	教	学年に応じた学習規律(学習の準備・学習中の姿勢・発表の仕方・ノートの取り方)を身に付けた子を90%以上にする。					
1(2)	保	自分の思いや考えを伝えることができるか。					
	教	自分の思いや考えを表現できる子を90%以上にする。					
2(1)	保	思いやりのある言葉を使っているか。					
	教	思いやりのある言葉を使ってる子を90%以上にする。					
2(2)	保	読書をしているか。					
	教	1・2・3年生は全員50冊以上、4・5・6年生は5000ページ以上の読書をする。					
3(1)	保	運動が好きか。					
	教	体育の授業や業間運動を充実し、運動好きな子を90%以上にする。					
3(2)	保	「もくもく、てきぱき」を合言葉に清掃をしているか。					
	教	「もくもく、てきぱき」を合言葉に膝つき清掃のできる子を90%以上にする。					
4(1)	保	登下校時にスクールガードや来校者の方にあいさつできているか。					
	教	登下校時のスクールガードの皆さんや来校者の方に挨拶できる子を90%以上にする。					
4(2)	保	家庭学習(宿題を含む)を10分×学年程度の時間しているか。					
	教	家庭学習(宿題を含む)を10分×学年程度ができる子を90%以上にする。					



《保護者の皆様からのご意見(抜粋)》

【子供の様子・成長から】

- 学年が上がるごとに、悪い言葉が増えてきました。学校で全体への指導をお願いします。
- まだ低学年なので学習面、生活面では身につけていないことも多々ありますが、子ども自身は学校生活の中で色々な学びがあるようです。
- 毎日一歩ずつやっていくことが成長する上で必要であると思います。毎日の宿題をこなしていくことで、字を書き覚えていくのが大切だと思うので、非常に良くなっていると思います。このまま努力していけば、十分に身に付いていくと思うので、教育の一つである「継続は力なり」を実践していると思います。
- 思いやりの言葉をたくさん言える子になってほしいです。
- 運動も勉強もある程度しっかりできている様なので、今までどおり変わらず、頑張ってくれたらいいと思います。コミュニケーション能力は高そうなので、これから最高学年に向けてしっかり礼儀を身につけてもらいたいと思います。

【本校の教育活動に対して】

- 熊谷東小学校の先生方の教育活動に関して、日頃より大変感謝しています。今時、子供も習い事も多いですが、学校で与えられた課題は、今日の日本の共通した学力の指標とっております。塾などもあります。学校から与えられた課題は、最低限の必要な学力と考えますので、家庭でも、学校から与えられた課題と一緒に、一本、その指標をクリアできたらとっております。手の届かない所まで、ご指導頂き、大変の感謝と、それに親も出来るだけ協力させて頂ければと存じます。
- 体力テストで平均を下回ったものを強化するため、業間運動に取り入れていることはとても良いと思えました。私の子どもの頃より、勉強、運動、生活面どの分野もとてもきめ細かくご指導していただけて、とても感心させられます。先生方の尽力による賜と思えます。ありがとうございます。
- 授業について、発表の仕方やノートのとり方を身に付けることも大事ですが、自分の思いや考えを表現する機会や時間の方が大事だと思います。個々の良い所や得意な面を伸ばせることができれば、子どもも自信が付き、生き生きと学べて学校生活を楽しめるのではないかと思います。
- 時々子供と休みに学校に遊びに行くのですが、遊具やなわとび板など、いつも整備されていて、子供たちが使いやすくなっているのですばらしいなと思えます。忙しいなかありがとうございます。
- 読書をベースに、発表で表現・伝える力を養うことは、将来に向けても大切だと感じています。世界の中の日本や埼玉の中の熊谷など、自分たちを学ぶ機会がもっとあると良いと感じます。

【教職員に対して】

- 課題を抱えている児童に対して、「保護者と共によりよい方向へ導こう」としてくださる先生方の対応に感謝いたします。担任の先生だけでなく、管理職の先生方も保護者の悩みや思いに耳を傾けてくださるので、安心して学校に送り出せます。参観日等で学校に伺うと、先生方が明るく笑顔で挨拶をしてくださいます。とても気持ちが良いです。そういう先生方の姿から子どもたちも吸収する部分が多いのだと思えます。
- 日頃より、子供達のためにご尽力くださり誠にありがとうございます。お忙しい中、子供達一人一人に目を配り細やかな対応をしていただき頭の下がる思いです。今後ともご迷惑をお掛けすること多々あると思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。

【あいさつについて】

- あいさつ、教育の面などきめ細やかできちんとしている学校と思えます。子どもたちの様子も素直でよい子が多いと思えます。中学に行くと他の学校の子達との関わりの中で東小がきちんとした学校だったことを改めて知ることになります。その中で小学校のときは挨拶をしっかりしていたのに、中学では先生に朝挨拶をしてもあまり返事を返してもらえなかったり、東小では真面目でも他の小学校ではそうでもない知り、よくない方へ流されやすい様に思えます。
- 自分の子供を含め、挨拶のできる子、できない子がいます。朝の旗当番のときに感じたことです。学校だけでなく、普段の日常生活の中でもしっかりと挨拶、おもいやりの言葉が大きな声でできるようになるといいなと思えました。
- 朝の旗振り当番では、信号のない横断歩道に立つため、スクールガードの方3人と保護者の合わせて4人立っています。（上之ベルクの所）子供達は1回言えばいいと思っているのか、渡り始める所にいるスクールガードの方には半分くらいの方が挨拶していますが、（声は小さいです）渡り切った所にいる私には、ほとんどの子があいさつを返してくれず、先日もがっかりして帰ってきました。あいさつは、それぞれ1人ずつにするのだと、子供達に伝えたいです。
- 我が家では、家族内でも「おはよう」「おやすみ」「ごめんなさい」「ありがとう」は絶対で、あいさつは小さいときから厳しく教えてきました。その甲斐あって、外でも言っていますが、旗振り当番に立つと良くて半分悪いときはほとんどの子が「おはようございます」を返してくれず、がっかりして帰ってきます。学校でも指導してくれていますが、親がするべきしつけだと思います。子供に言わせていない親が、ちらほら目につきます。親に指導したいです。

【家庭学習について】

- 帰宅後、すぐに宿題に取り組む習慣が身につきました。このような基本的な習慣が身に付くのはとても大切なことだと思いますので、変わらずご指導の程よろしくお願い致します。
- 宿題について、自主勉のみの宿題が多いように思います。目標もなく、自主勉を家庭学習で行うのは、5年生では少し難しいように思います。週に何日かは、課題（漢字ドリルや計算ドリルなど）を頂き、何日かは自主勉などにして頂いたほうが子供たちにとって良いように感じます。

《 教育活動の成果と課題 》

【重点1】基礎・基本の徹底と指導方法の工夫改善（学年に応じた学習規律）

- ・保護者の90%、教職員の80%が十分達成・達成と回答しています。昨年度と比較して保護者の評価はほぼ同じですが、教職員の評価が下がっています。危機感を持っている事が感じられます。学力の基は学習規律であることを再度認識し、共通理解、共通行動を行い保護者と連携しながら徹底を図る必要があります。
- ・ノートの取り方については、これまで継続して取り組んできた算数の板書指導案の成果が引き続き現れていると考えられます。しかしながら、そのことに甘んじることなく、深い教材研究と工夫をすることによって、学ぶ喜びを実感できる授業展開を追求していかなくてはなりません。

【重点2】相手に自分の思いを伝える表現力の育成

- ・保護者の91%・教職員の69%が十分達成・達成と回答しています。保護者の回答が昨年度とほとんど変わらないのに比較し、教職員は表現力に大きな課題を感じていると思われます。今後は、授業におけるアクティブラーニングを効果的に取り入れ、個々の児童の表現力を伸ばしていくとともに、道徳教育による「見える化」などの更なる充実を図り、自分の思いを周囲の人たちに伝えることができ、友達と円滑な学校生活を送ることのできる児童の育成に努めなければなりません。

【重点3】実践力を高める道徳教育の充実（思いやりのある言葉）

- ・保護者の93%・教職員の77%が十分達成・達成と回答しています。教職員の評価が低いことが気になります。「褒め、認め、励ます」ことは教育の原点であることから、根気よく指導を続けていく必要があります。課題のある児童についても、時には優しく小さなことから認め褒め、時には厳しく毅然とした態度で対応し、教職員が心をひとつにし、あきらめずに指導を続けていく必要があります。
- ・課題のある児童の増加や、教職員の若返りが進むなか、その対応に苦慮することが多くなっています。組織的な対応力と教職員の指導力の向上に努めていかなくてはなりません。

【重点4】心を育てる読書活動の推進

- ・保護者は73%、教職員は58%が十分達成・達成と回答しています。8つの質問の中で、保護者も教職員も一番達成の数値が低いです。その理由として、取組のマンネリ化が考えられます。現在、週に1回月曜日に朝読書として全校一斉に取り組ませっていますが、他の工夫改善を必要とします。熊谷市の「3減運動」の中にもあるように、家族との会話を増やしたり、家庭での読書を推進したりと家庭との連携をさらに深めたいと考えます。

【重点5】体育授業、業間運動の充実による体力の向上

- ・十分達成・達成と回答している保護者は90%、教職員は88%です。保護者の回答の中では十分達成が一番高い数値を示している項目です。しかし、業間休みに外で元気よく遊ぶ児童と室内で遊ぶ児童とで二極化してしまっているのが現状です。一昨年度の体力テストの結果の改善から、業間運動の方法を工夫し、運動量を増やしたり種目の改善を図ったりしましたが、新体力テストの結果は今年度伸びが大変少なかったことから、更なる改善が求められています。
- ・体育は、できる喜びを十分味わうことのできる教科で、運動好きな児童を育成できるかどうかは担任の指導力によるところが大きいです。若手の職員の育成を行い、職員の指導力向上を目指し、研修を重ねていきたいと考えます。

【重点6】 勤労・体験活動の充実（清掃）

- ・保護者は82%、教職員は73%が十分達成・達成と回答していますが、十分達成の数値は、保護者が32%、教職員が15%と両方で違いが見られます。半数以上の児童が膝を着いて黙々と清掃をしていますが、高学年になるにしたがい、やや違った姿を見ることも多いのが現状です。本校の伝統である「進んで学校をきれいにする」を守るためにも教職員が一丸となり児童の指導に当たっていきます。

【重点7】 校内・校外であいさつのできる子の育成

- ・十分達成・達成と回答している保護者は89%・教職員は73%です。昨年度は、学校と家庭・地域が連携しあいさつ運動を積極的に推進したことにより、あいさつが積極的にできる児童が確実に増加しました。しかし、今年度は多くの保護者の方からご意見をいただいているように、あいさつの声が小さい、あいさつを言わない状況があるようです。家庭に更に働きかけるとともに、今後も取組を積極的に継続していく必要があります。また、あいさつは道徳の見える化でもあることから、道徳教育や日頃の教育活動を通して、心のこもったあいさつのできる児童を育成します。

【重点8】 家庭学習の定着

- ・十分達成・達成と回答している保護者は87%。教職員は96%です。学力の向上のためには、家庭学習の充実はなくてはなりません。宿題に対する保護者からのご意見からは大きな課題が浮かんできます。毎日の宿題の量と内容、自主勉強の支援（事前指導と継続した指導）、長期休業日の宿題のあり方、保護者の理解と協力など、全教員が考え方やよりよい方法について情報交換し合った上で、家庭とも連携を図りながら実施していく必要があります。

【全体的に】

- ・学校評価の数値の結果や意見から、今年度、保護者の期待に応える教育活動がほぼできたと考えます。しかしながら、課題も大変多いのが現状です。保護者からのご指摘や批判についても真摯に受け止め、全教職員で共通理解の上、「チーム東校」として家庭や地域の方々と連携を図りながら教育活動に取り組んでいきます。
- ・昨年度の学校評価に比べて、今年度の教職員の評価は大変厳しいものとなっています。課題に対する改善点を明確にし、来年度に生かしていきます。

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

